

# 情報収集の達人になろう！

～ほしい資料を探そう～

好奇心旺盛な  
あらいぐま博士



あらいぐま博士の豆知識シリーズ 5

現在、インターネットを通して、さまざまな情報を入手することができます。今までに比べると多くの情報が短時間で入手できますが、反対に必要な情報かどうかを判断しなくては、いけません。

豆知識シリーズ5では、ほしい資料を迅速に見つける方法を紹介するよ。

## 達人への道

### Step 0：事項調査：ことばについて調査！



### Step 1：文献探索：データベースを利用して調査！



### Step 2：所蔵調査：どこにあるのか調査！



### Step 3：資料収集：資料を手に入れよう！

- 1：本学にある場合
- 2：本学にない場合



情報収集の基本は、**メモ！**

**調査内容、方法、キーワードをメモしよう！！**

### Step 0：事項調査：ことばについて調査！

まず、自分が調べたいこと（テーマ）について、簡単に調査しよう。

テーマの全体像とテーマに関する概念をあらかじめ把握しておこう。  
基本的な知識が得られ、調査の手がかりとなるキーワードが発見できるよ。

（自分が調べたいことばの言い換えたことばやかかわることばを知っていると、データベースで検索するときに、役に立つ！）

#### 1 テーマに関する教科書、ハンドブック、百科事典などの関連項目を読む

- 言葉の意味を調べる  
『広辞苑』、『日本国語大辞典』、『大漢和辞典』、『現代用語の基礎知識』など
- 物・事柄を調べる

#### 2 専門用語を調べる

- 『日本近代文学大事典』、『心理学事典』、『音楽大事典』、『新潮世界文学辞典』、『岩波理化学辞典』、『日本古典文学大辞典』、『仏教語大辞典』、『六法全書』など

#### 3 データベースで調べる

- Japanknowledge（学内限定）

百科事典を中心に、英語辞典、現代用語等の辞・事典類、さらに、東洋文庫、世界地図など30以上のコンテンツを搭載。音声、映像などマルチメディアを駆使した情報、複数コンテンツの横断検索が出来ます。



一見回り道に見えるけど、調べておくと、役に立つよ

**急がば回れ！！**

Hiroshima Bunkyo University Library 2008年/2015年改訂

## Step 1: 文献探索: データベースを利用して調査!

事項調査が終わったら、早速ほしい資料・情報を調査しよう。

じゃあ、“Yahoo!”を“Google”を“Amazon”をと思ったあなた、ちょっと待って!!

インターネットを利用するときは、まず自分がどんな資料・情報がほしいのか、はっきりさせよう。ほしいものによって、何をを使うか選択しよう!!

ここでは、図書・雑誌記事・新聞記事について調査してみるよ。

### 情報・資料ってどんなもの?



**図書** =特徴= 雑誌・新聞に比べて即時性はありますが、まとまった内容で、またある程度価値が定まったものが掲載されています。

- 「NDL ONLINE」(国立国会図書館Web) <https://ndlonline.ndl.go.jp/>

国立国会図書館が所蔵する明治以降の和書275万件と1986年以降の洋書32万件が容易に検索できます。(図書館HPから利用できます。)

- 「Webcat Plus」(NII) <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

キーワードを入れると、連想検索で関係ある資料を探します。  
※たくさんの資料がヒットしてくるので、検索項目に気をつけよう!

テーマや件名で本を探すときは、

『日本件名図書目録』(冊子体)、『全情報』(冊子体)

政府刊行物を探すときは、

『全国官報販売協同組合』 <http://www.gov-book.or.jp/>

一年間ごとに出た市販図書を探すときは、

『出版年鑑』(冊子体)、『BOOK PAGE 本の年鑑』(冊子体)

**雑誌** =特徴= 雑誌は、新聞記事がより詳しくなったものや研究の成果がある程度まとまった内容のものが掲載されています。

- 「NDL ONLINE」(国立国会図書館Web) <https://ndlonline.ndl.go.jp/>

国立国会図書館が記事を採録した雑誌18,098誌(2008.5現在)に掲載された各記事・論文について記事のタイトル・著者名などから検索できます。(図書館HPから利用できます。)

- 「MAGAZINEPLUS」(日外アソシエーツ)(学内限定)

国内最大の雑誌・論文記事のデータベース。一般週刊誌から、学術雑誌、経済誌、海外起業誌などから、幅広く採録している。学会年報・研究報告・学術論文集を含む。(図書館HPから利用できます。)

- 「CiNii Articles」(NII)(一部有料) <https://ci.nii.ac.jp/>

日本の学術論文を中心とした論文情報を提供。論文の検索は誰でも利用できます。本文が公開されている論文もあります。抄録や引用情報の参照、本文公開の一部は、有料のため、学内からアクセスしてください。(図書館HPから利用できます。)

**新聞** =特徴= 新聞は、図書・雑誌に比べて即時性が強く時事性に富んでいます。図書・雑誌のようなまとまった内容ではありませんが、簡潔です。新しい日々の内容を確認することと、過去の出来事の情報源として有効です。

- 「聞蔵Ⅱテキスト」(朝日新聞社)(学内限定)

1984年8月からの朝日新聞の朝・夕刊の記事、1988年以降からは各都道府県の県庁所在地をカバーする地方版(沖縄を除く)を検索できます。新聞記事は、当日の朝刊掲載記事から検索可能です。(著作権がクリアされているものは、本文閲覧可)  
(図書館HPから利用できます。)

- 「ヨミダス文書館」(読売新聞社)(学内限定)

1986年からの読売新聞の朝・夕刊の記事を検索できます。  
(著作権がクリアされているものは、本文閲覧可)

**孫引き禁止!!** ※二次資料とは、書誌や目録、索引、辞典類のことだよ。

孫引きとは、二次資料やデータベースを利用しないで、本や論文にあげられている参考文献や引用文献の情報を利用することだよ。

一見便利なようだけど、実際にその情報をもとに調べてみると、論文が出てこない!ということがよくある。それは、その情報が間違っていたり、プリントミスがあったりするからだ。参考文献や引用文献の情報は、一度きちんと調べてから使おう!!

